

ユーザーガイド

air-Q[®]3, air-Q[®]3Gの挿入方法

ステップ1

パイロットバルーンにシリンジの外筒のみを接続してバルブを開放した状態にします。

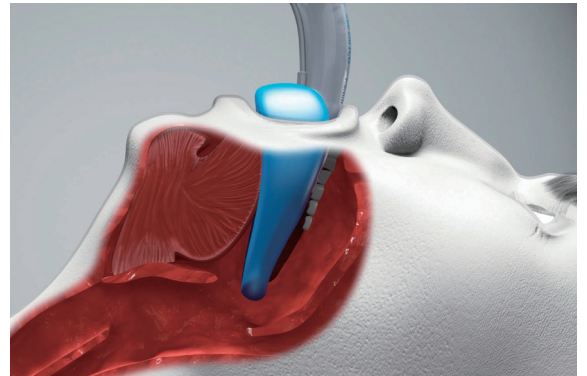
マスクの背面と前面に潤滑剤をしっかり塗布します。



ステップ2

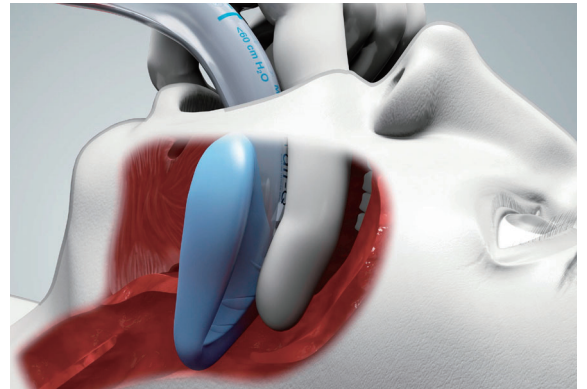
air-Q[®]3 マスクの前部を舌根と軟口蓋の間に置き、舌を中心に回すようにして挿入していきます。

舌を巻き込まないようにご注意ください。



ステップ3

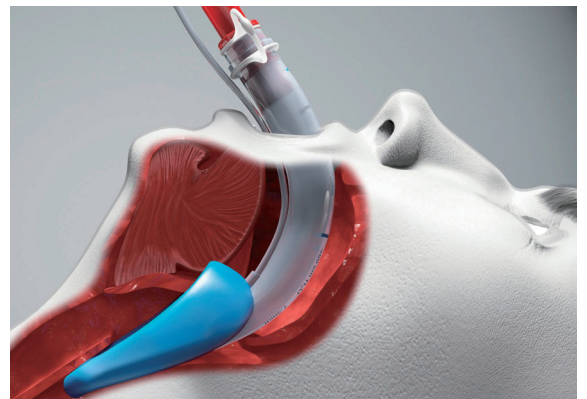
挿入しにくい場合は、左手で下顎を持ち上げるか左手の人差し指をマスクの背面に添え、指を前に曲げてマスクが咽頭に案内されるように支持しながら挿入してください。



ステップ4

前方へ進めようとしても動かないと感じる位置まで挿入していきます。抵抗を感じたところが正しい留置位置となります。

シリンジの内筒を付け直し、推奨表にしたがってカフを膨らませてください。目安はサイズと同じ容量(cc)となりますので膨らませすぎないようにしてください。



ユーザーガイド

air-Q®sp3, air-Q®sp3G の挿入方法

ステップ1

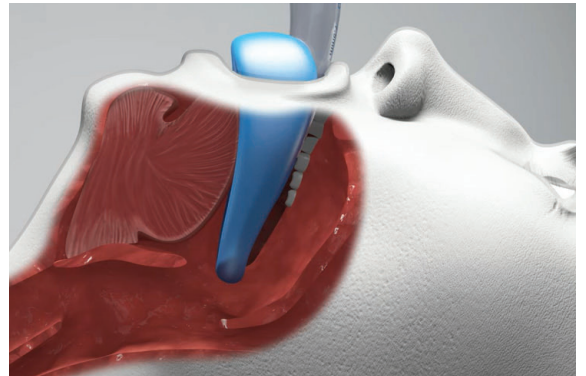
マスクの背面と前面に潤滑剤をしっかりと塗布します。



ステップ2

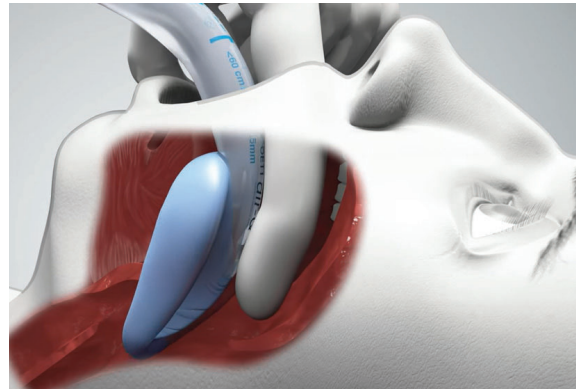
air-Q®3 マスクの前部を舌根と軟口蓋の間に置き、舌を中心に回すようにして挿入していきます。

舌を巻き込まないようにご注意ください。



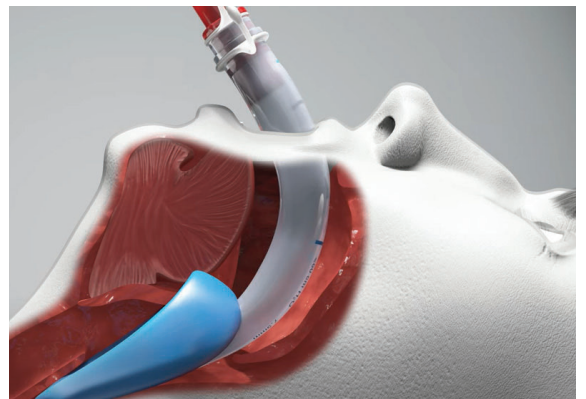
ステップ3

挿入しにくい場合は、左手で下顎を持ち上げるか左手の人差し指をマスクの背面に添え、指を前に曲げてマスクが咽頭に案内されるように支持しながら挿入してください。



ステップ4

前方へ進めようとしても動かないと感じる位置まで挿入していきます。抵抗を感じたところが正しい留置位置となります。



ユーザーガイド

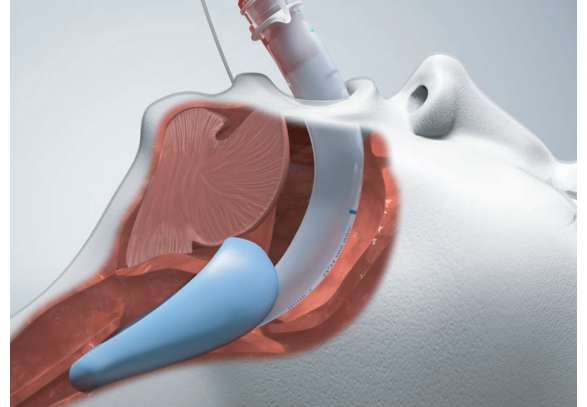
air-Q®3を介した挿管方法 気管内チューブの挿入

ステップ1

局所麻酔の噴霧または筋弛緩薬によって喉頭部筋組織と声帯を弛緩させる必要があります。

予備的に酸素を投与します。

適切なサイズの気管内チューブを選択し、カフを脱気して潤滑剤をしっかりと塗布します。



ステップ2

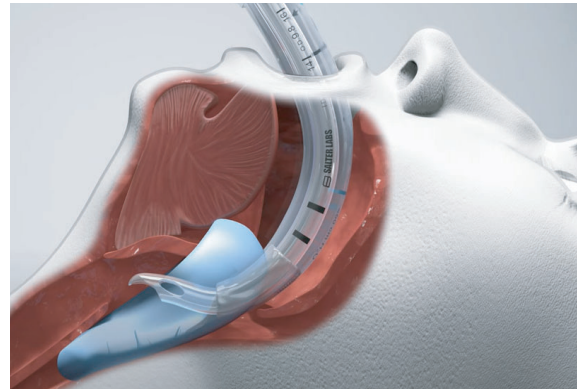
air-Q®3 から麻酔回路を取り外し、air-Q®3 のコネクタを前後に揺り動かしながら取り外します。



ステップ3

air-Q®3 の本体サイズ表記の上に印字されているデプスマークを確認します。

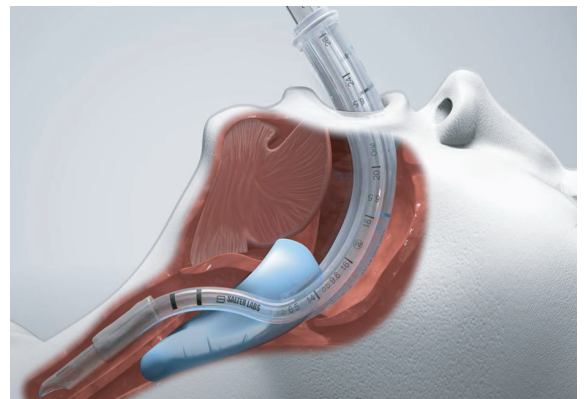
気管内チューブのデプスマークのこれと同じ位置を持ってair-Q®3 に挿入します。これにより気管内チューブの先端がマスキャビティ内の開口部またはその近辺にくるように配置されます。



ステップ4

標準プロトコル^{*}に沿って気管内チューブを慎重に声帯を通して気管内に挿入していきます。

^{*}※病院のプロトコルまたは学会が推奨するプロトコル



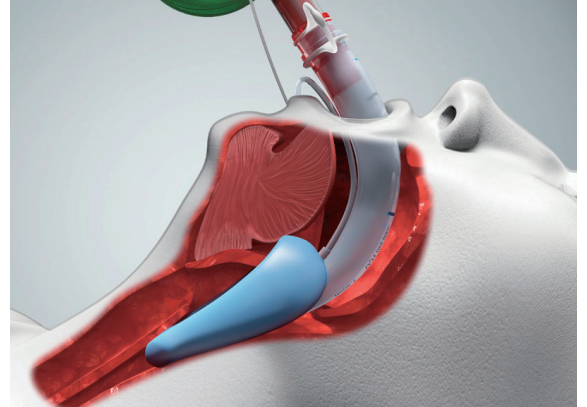
ユーザーガイド

air-Q®3を介した挿管方法 air-Q®3の抜去

ステップ1

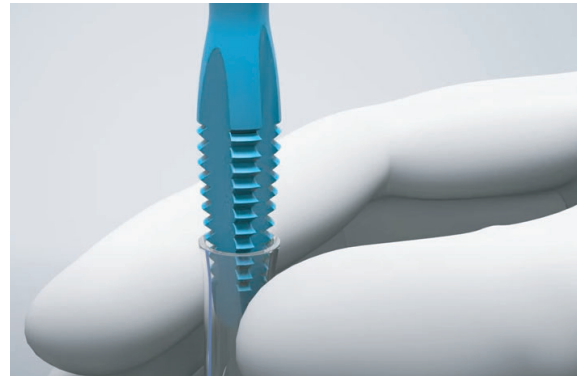
適切なスタイレットを選択します。

気管内チューブのコネクタを取り外します。



ステップ2

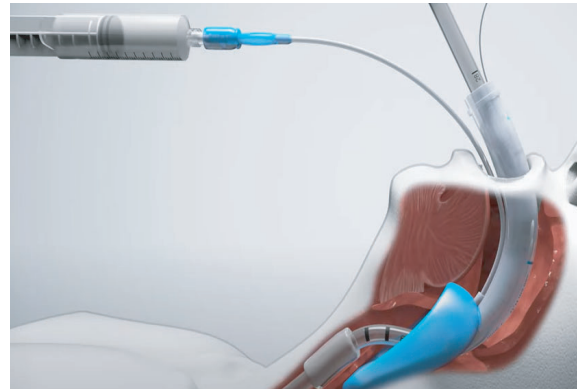
気管内チューブのコネクタを外したところにair-Q®3 抜去用スタイレットの先端を挿入します。スタイレットをひねりながら強く挿入することでしっかり固定されます。



ステップ3

気管内チューブのカフを脱気し、パイロットバルーンに潤滑剤を塗ります。

気管内チューブが抜けないようにスタイレットで深さを維持しながらair-Q®3 を引き抜いていきます。

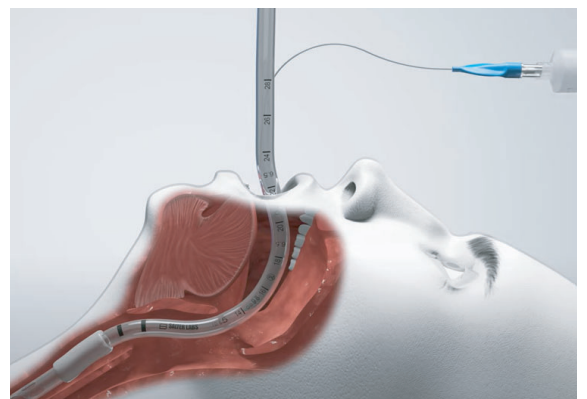


ステップ4

気管内チューブの挿入深度を確認して調整します。

気管内チューブから抜去用スタイレットを取り外しコネクタを取り付けます。

気管内チューブのカフを膨らませて換気を確立します。



ユーザーガイド

シール圧推奨事項

適切なシール圧

air-Q[®]3 のシール圧が換気に不十分な場合、体重基準で推奨されているものよりも大きなサイズを使用することをおすすめします。また、シール圧が達成された場合でも、圧外傷や換気不全を防ぐため、換気時の最高気道内圧は40cmH₂Oを超えないようにしてください。

換気中の過剰なリーク

換気中に過剰なリークが認められた場合、以下のいずれかまたは全てを実施してください。

1. より大きなサイズのair-Q[®]3 を使用する
2. air-Q[®]3 とair-Q[®]3Gでは、カフ圧をチェックし、必ずマスク内に十分な空気があることを確認する
3. 一回換気量を5mL/kgに制限する
4. ゆっくりとした穏やかな呼吸で徒手換気を行う



製造販売元

 株式会社 インターメド ジャパン

<http://www.intermedjp.co.jp/>

本社: 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-6-7 JMFビル北浜01 14F
TEL 06-6222-1951(代)・FAX 06-6222-1950

東京支店: TEL 03-5363-8460・FAX 03-5363-8465

大阪支店: TEL 06-6222-1957・FAX 06-6222-3760

福岡支店: TEL 092-451-2459・FAX 092-451-2419



一般的名称: 短期的使用口腔咽頭チューブ 販売名: air-Q3 シングルユース
医療機器認証番号: 304ADBZX00077000 クラスII
機能区分 (1)カフあり (2)カフ上部吸引機能なし